

第1回遠隔医療懇談会発表資料

地域医療の現状と課題

自治医科大学 地域医療学センター
梶井 英治

高齢社会と健康問題の変化

高齢化率：20.1%（平成17年）

平均寿命：男性79.0歳、女性85.8歳

健康問題：複数の慢性疾患へ

医療の役割：

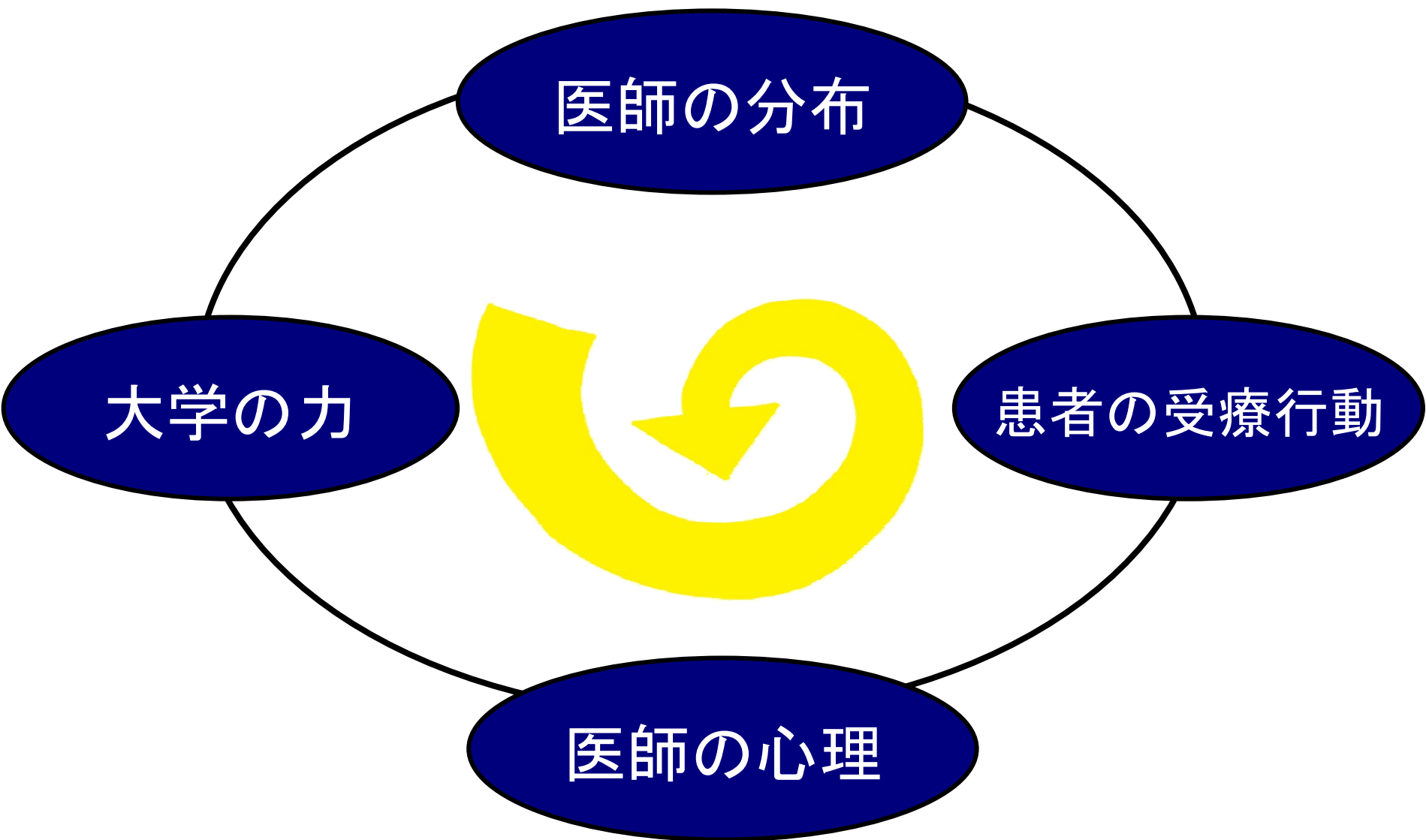
「病気の治療」から「病気の管理、健康の維持、身体の機能回復」へ

医師不足の現状

- 医師の絶対数が不足している
- 医師が偏在している
 - 都市部に集中している
 - 中小規模の病院の医師が足りない
 - 小児科医、産科医、麻酔科医が足りない
 - 夜間、休日に診療する医師が少ない

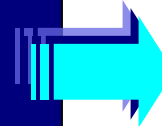
わが国の医療を取巻く 負のスパイラル現象

わが国の医療を取巻く負のスパイラル現象



患者の受療行動の変化と影響

- 大学病院への集中
- 専門医志向
- 時間外受診の増加
- 複数医療機関への受診

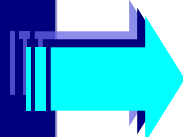


医師の仕事量増大

医療提供体制の低下

患者自身の困乱

医師の心理の変化と影響

- 日常業務の増大
 - 精神的負荷の増大
 - 臨床研修の重視
 - 自己選択の重視
- 

医師のストレス増大
激務(特に重症、救急)
からの回避
・・・選択診療科の偏り、
開業医の増加
脱医局化への進展

大学の力の変化と影響

- 教育・診療業務の増加と多様化
- 医師派遣能力の低下
- 研修医離れ
- 附属病院の経営困難



個々の負担の増加
派遣医師の引きあげ
大学の力に陰り
医局体制の低下

へき地の勤務医師

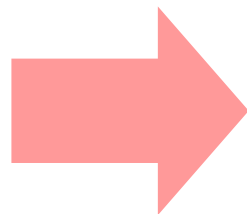
	自治医大 n=396	他大学 n=1,885	計 n=3,031
派遣でない	115 (29%)	339 (18%)	853 (28%)
派遣である	277 (71%)	1,547 (82%)	2,174 (72%)
大学医局	45 (11%)	1,522 (81%)	1,899 (63%)
その他	229 (58%)	22 (1%)	266 (9%)
不明	3 (1%)	3 (0.2%)	9 (0.3%)

* 対象: 公的医療機関に勤務する医師

* * 他大学: 50歳未満

わが国の医療を取巻く
負のスパイラルから抜け出すためには

・・・医療の流れの明確化と
医療づくりへの住民参加が重要



地域医療の整備・充実

地域医療の位置付けと取り組み

『地域医療は、そこで生活する
地域住民のための生活支援活動
であり、地域医療の主人公は地
域住民である』

『医療の流れ』づくりの基本

- 医療機関の機能分担・連携
- 総合医の育成・定着
- 住民への啓発・啓蒙
- 相互の信頼と理解・協力

「何でも相談できる医師」の役割

(総合医、家庭医、プライマリ・ケア医)

- 一般的な病気の診断と治療
- 初期救急
- 適切な紹介
- 慢性疾患の長期管理
- 健康増進と疾病予防
- 医療チームにおけるリーダーシップ
- 全人的, 包括的医療

地域医療の確保・充実策の方向性

- 地域という枠組みの再構築
- 住民が参加する地域医療づくり
- 地域医療を担う総合医の育成
- 地域医療機関間の機能分化と連携
- 地域医療を支援する体制の充実
- 各都道府県あがての地域医療体制の構築

自治医大卒業医師の義務年限終了後のへき地勤務に関わる正の要因

- 地域医療に対する行政(都道府県)の明確な方針
- 行政と卒業生との密な意見・情報交換
- 地域医療に従事する医師の組織
- へき地で働く医師の支援体制の充実
- 全県の地域医療を見守る中心的医療機関の存在
- 生涯研修の保障

へき地医療支援機構

へき地医療の中核的病院に設置 (例: 県立病院等)

- ・へき地医療拠点病院に対する医師派遣の要請
- ・へき地医療拠点病院における医師・歯科医師・コメディカル等人材プールの指導・調整
- ・研究計画・プログラムの作成
- ・統合的な診療支援事業の企画・調整
- ・へき地医療拠点病院群の活動評価

A map of Kochi Prefecture, Japan, with the text overlaid. The map shows the coastline and major islands, with the text centered over the main landmass.

へき地医療確保・充実へ向けた取り組み — 高知県の例 —

高知県へき地医療協議会

総 会: 1回/年
幹事会: 3ヶ月毎

三権分立(三位一体)の関係

高知県(主管課:へき地医療主管課・へき地医療支援機構)

負担金・人事要望

派遣されている医師数
によって負担金が異なる

医師継続派遣
市町村への指導

人事ヒアリング
& アンケート
支援機構による支援

へき地医療確保
人事要望

11市町村

自治体間における
横のつながり

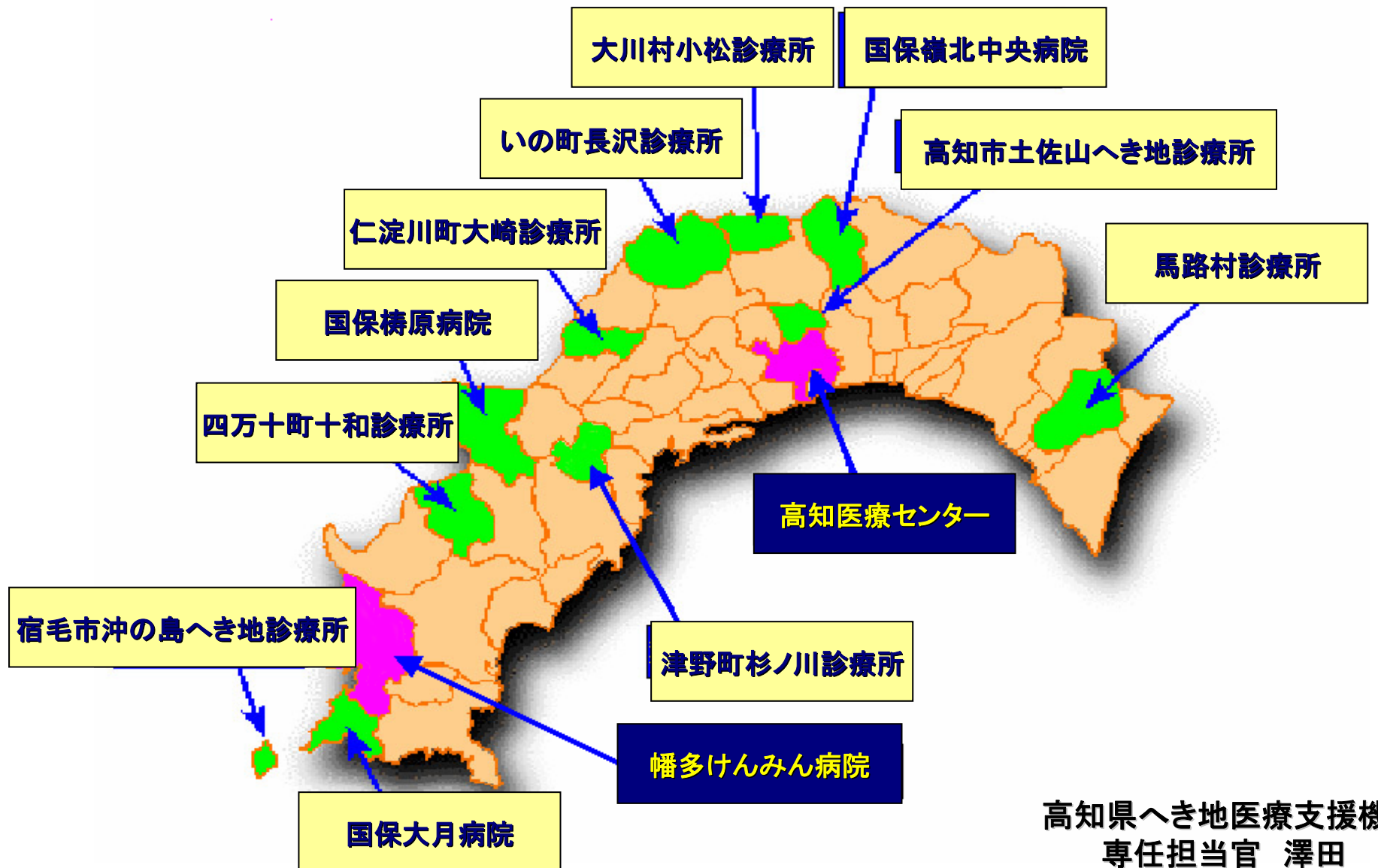
労務環境・QOL向上
後期研修・定期医師研修

高知諸診医会(34名)

地域住民の健康管理・地域医療貢献

高知県へき地医療支援機構
専任担当官 澤田 努

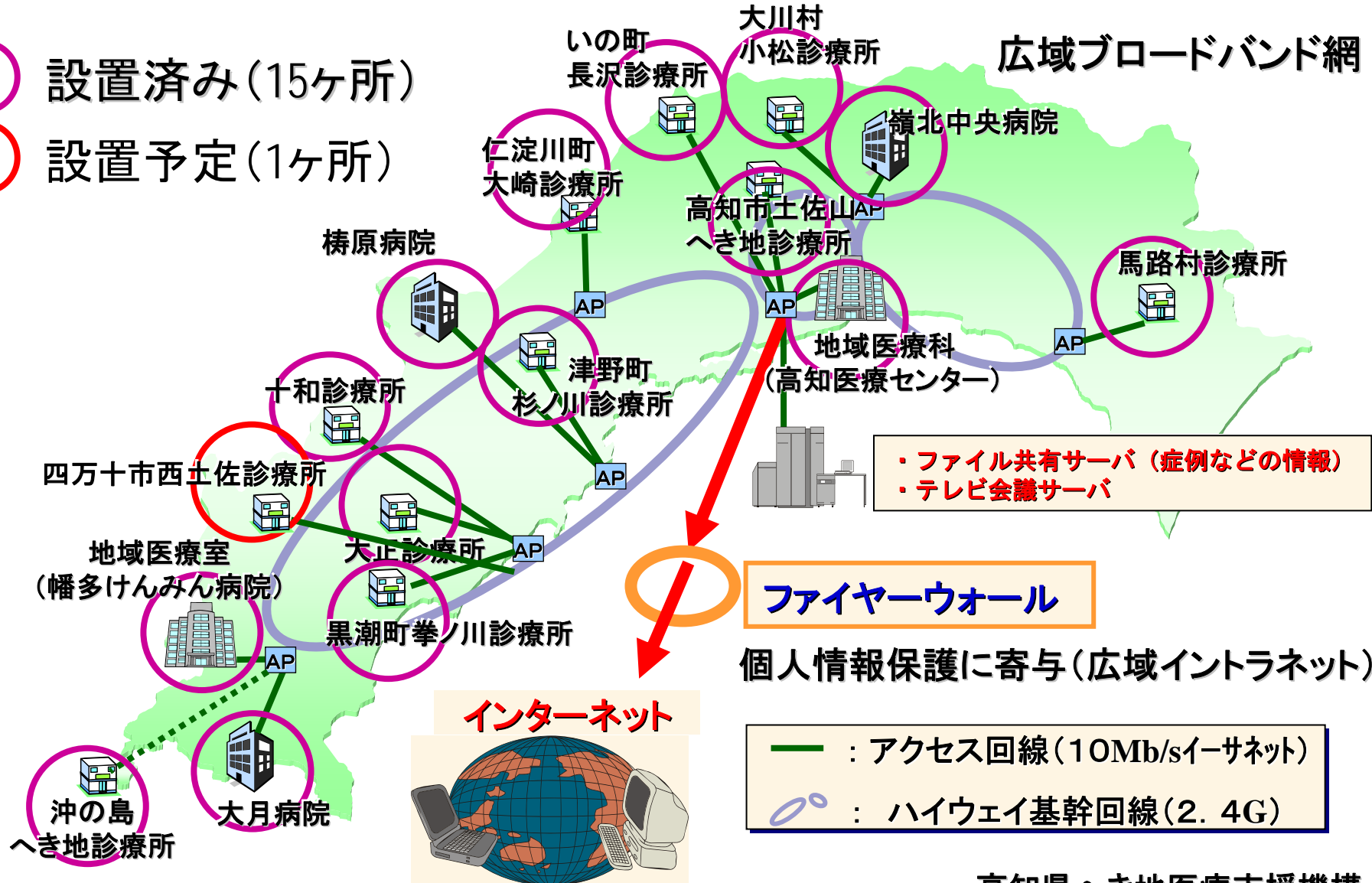
高知県へき地医療協議会(11市町村)



高知県へき地医療情報ネットワーク

2008年3月1日現在

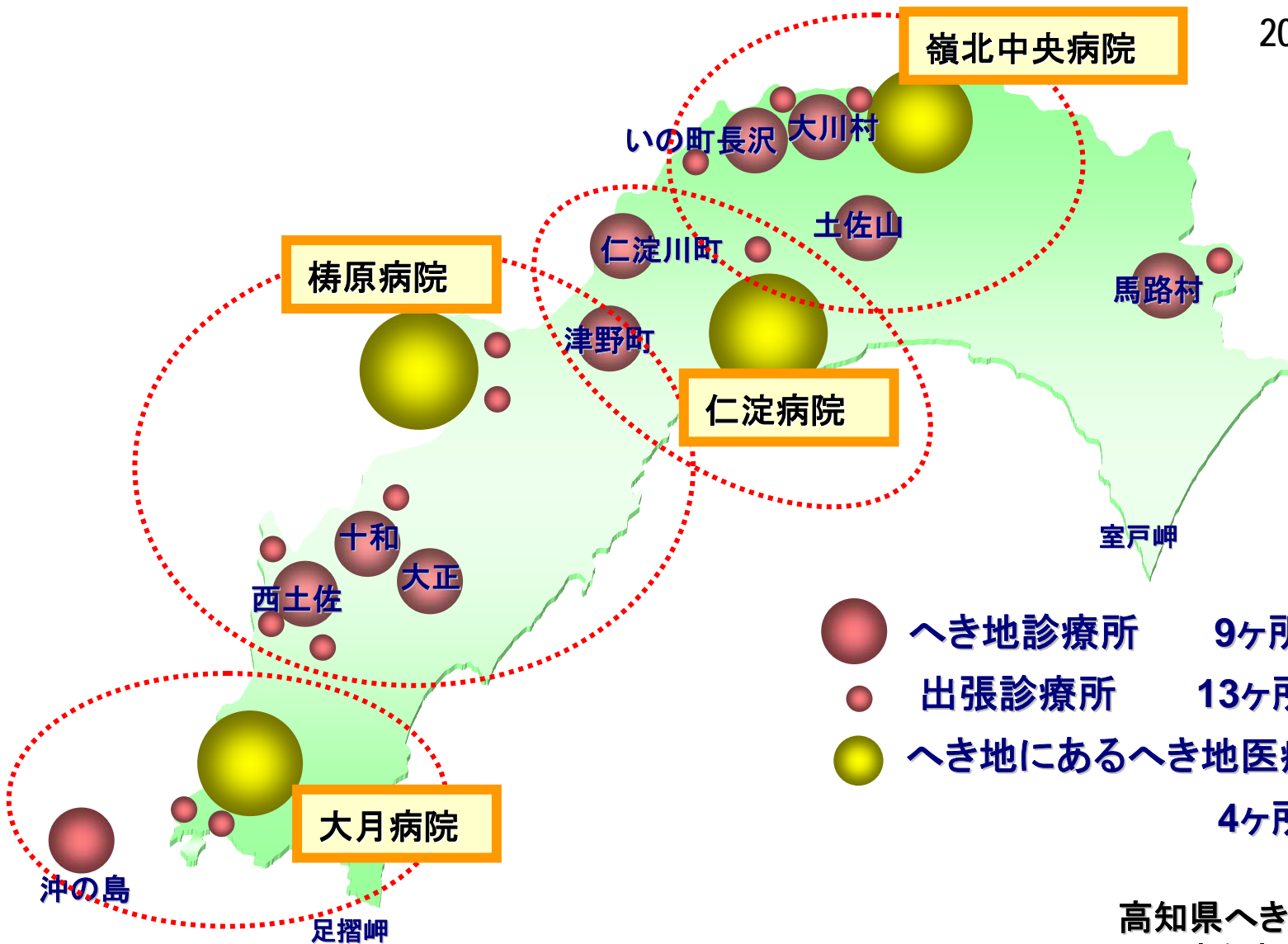
- 設置済み(15ヶ所)
- 設置予定(1ヶ所)



高知県へき地医療支援機構
専任担当官 澤田 努

へき地医療初期研修4グループ・指導医数

2008年3月現在



	指導医数	
● (Large Red Circle)	へき地診療所	9ヶ所 14名
● (Small Red Circle)	出張診療所	13ヶ所 兼任
● (Large Yellow Circle)	へき地にあるへき地医療拠点病院	4ヶ所 29名

高知県へき地医療支援機構
専任担当官 澤田 努